

特別会計 一般会計と区別が 必要な事業の会計

8つある特別会計はどれも
赤字はありませんでした

※各項目・区分ごとに四捨五入しているため、差し引きが一致していません

国民健康保険料などは一般会計と
お財布を別にして、収入と支出を
確認しやすくしています



区分	歳入	歳出	差し引き	区分	歳入	歳出	差し引き
土地区画整理	8.2億円	8.2億円	0億円	後期高齢者医療	352億円	337億円	15億円
駐車場	1.6億円	1.6億円	0億円	介護保険	1,714億円	1,714億円	0億円
母子父子寡婦福祉資金貸付	1.5億円	0.4億円	1.0億円*	基金	25億円	22億円	3億円
国民健康保険	1,810億円	1,804億円	6億円	公債	3,939億円	3,939億円	0億円

企業会計

民間企業のように利用料金などの
収益で運営している会計

収益的収支は、市立札幌病院・中央卸売市場は赤字、
路面電車・地下鉄・水道・下水道は黒字です

	市立 札幌病院	中央卸売 市場	路面電車	地下鉄	水道	下水道
主な 建設改良 事業	老朽化した設備や 医療機器の更新	老朽化に伴う市 場設備の更新、 改修工事	老朽化した施設や 軌道の更新・改修、 低床車両の製造	老朽化した施設や 車両機器の更新・改 修、駅舎設備の利 便性向上対策	施設、水道管路の 更新や耐震化	老朽化した管路や 施設の改築、雨水 対策、地震対策
収益的収支 (税込)	収入 254億円 → 支出 274億円 → 21億円*	収入 22億円 → 支出 22億円 → 0.4億円*	収入 16億円 → 支出 15億円 → 0.7億円*	収入 528億円 → 支出 415億円 → 114億円*	収入 473億円 → 支出 365億円 → 108億円	収入 517億円 → 支出 505億円 → 11億円*
資金の状況	13億円の 資金不足	16億円の 資金残	5億円の 資金残*	69億円の 資金残	119億円の 資金残*	56億円の 資金残
赤字の累積額	71億円	47億円	10億円	1,821億円	なし	7億円

※1 各項目・区分ごとに四捨五入しているため、差し引きが一致していません ※2 一般会計からの長期借入金5億円を含む ※3 水道施設更新積立金44億円を含む

資産

基金

特定の事業や、財源が不足したときに使う貯金

●残高…5,452億円

財政調整基金283億円など25基金

財政調整基金の取り崩し額は政令指定都市移行後
52年間で2番目に多く、年度末残高は5年ぶりに
300億円を割り込みました。

財産

公園や学校などの公有財産や物品、債権

●公有財産…土地5,554万㎡、建物(延べ面
積)588万㎡、有価証券14億円、
出資による権利149億円

●物品(100万円以上のもの)…6,333点

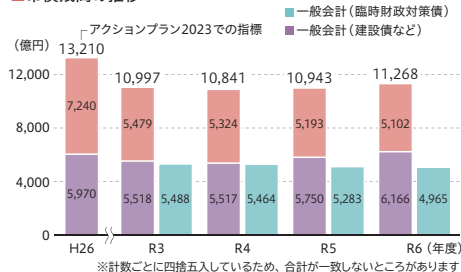
●債権(民間への貸付金など)…35億円

市債

各会計の合計の市債残高は
ほぼ横ばい、一般会計の市債の
残高は過去最高を更新

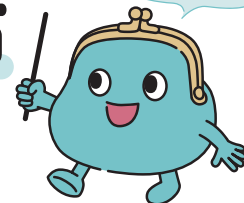
市の借金である市債の残高は1兆6,234億円
となり、前年度と比べてほぼ横ばいとなりました。しかし、一般会計の市債残高は公共施
設の更新の増加や建設費の高騰により、過去
最高を更新しました。

市債残高の推移



さっぽろのお財布

私が解説します!



市では、市民の皆さんが納めた税金がどのように使われているのかを
お伝えするため、決算や予算の執行状況を毎年公表しています。
このページでは、令和6年度の決算の概要や財政状況をお知らせします。

詳細 企画調査課 ☎211-2216

令和6年度決算の状況



まずは決算の状況を
見ていきます

一般会計

福祉や教育、
道路整備など行政の
基本的な事業の会計

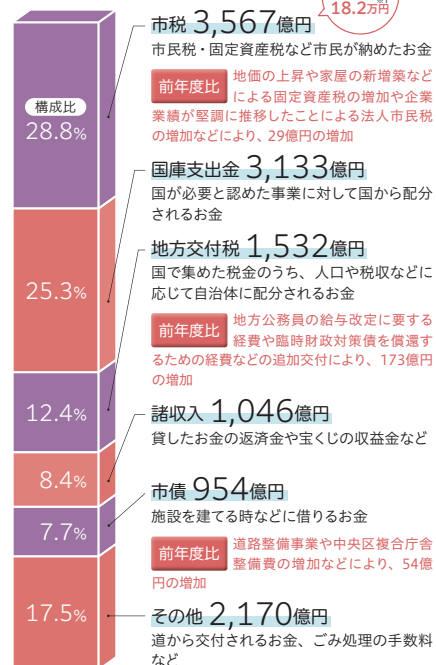
物価上昇などの影響により、歳入と歳出は共に上昇しました

歳入は市税収入が過去最高額となるなど好調であった一方で、歳出は物価や賃金水準
の上昇により、福祉や建設など幅広い行政分野の経費が増加しました。

※各項目・区分ごとに四捨五入しているため、合計などが一致しないところがあります

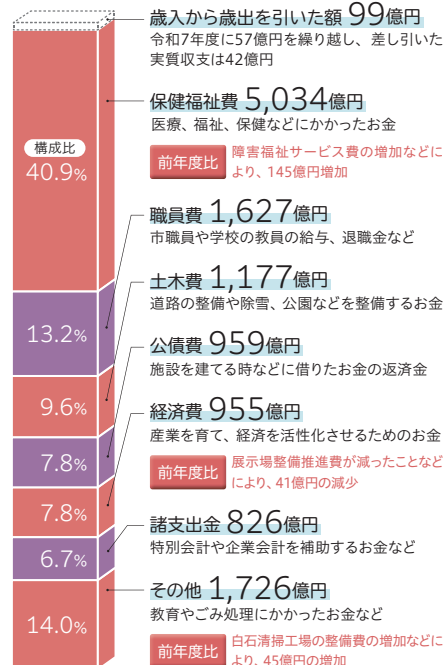
歳入総額 1兆2,402億円

前年度比299億円増(2.5%増)



歳出総額 1兆2,303億円

前年度比292億円増(2.4%増)



※1 令和7年4月1日現在の人口(国勢調査ベース)で割って算出

市の財政の特徴

自治体の財政状況を示す指標である「健全化判断比率」は良好な水準ですが、徐々に悪化しています。また、支出の増加に収入が追いついておらず、財政の自由度(市独自のサービスを行うための財源)は低下しています。

健全化判断比率の4つの指標は良好

指標	札幌市	早期健全化基準※
実質赤字比率 一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	11.25%
連結実質赤字比率 全ての会計を合わせた赤字の割合	赤字なし	16.25%
実質公債費比率 年間の借金返済額の割合	3.2%	25%
将来負担比率 将来の負担となる借金などの割合	22.2%	400%

※この数字を上回ると財政健全化の取り組みが必要となります

自力で得る収入が少なく、国からの交付金が多い

財政力指数 ※高い方が望ましい

標準的な行政を行うためのお金を自ら賄える割合

(R5) **0.711** → (R6) **0.706**
(R6)政令市20都市中17位
政令市平均0.836

定期的な収入に対して、自由に使えるお金が少ない

経常収支比率 ※低い方が望ましい

お金が義務的な経費などにどれだけ充てられているか示す割合

(R5) **95.4%** → (R6) **98.0%**
(R6)政令市20都市中10位
政令市平均97.1%

市の財政の長期的な見込みと取り組み

今後の財政運営は？

市を取り巻く厳しい財政状況を踏まえ、よりめりはりがついた予算編成を行い、持続可能な財政構造への転換を目指します。

- アクションプラン2023で掲げる計画目標を達成するための「まちづくりの取り組み」と、その実効性を担保する「行財政運営の取り組み」を着実に推進する
- 事務経費の削減や事業の実施手法の効率化、新たな財源の確保など内部努力を中心とした見直しを着実に進める
- 目的を達成した事業や成果があがらない事業などについては、前例にとらわれることなく、廃止を含めた事業再編、再構築を徹底する

重点的な取り組み

公共施設の更新の必要性に対応して建て替え費用を抑制

- 建物長く使えるように、改修や修繕を実施
- 建て替え時期を分散させて、費用の偏りを軽減
- 施設の機能を維持しながら複合化を進め、総量を抑制

1970年代に急速に成長した札幌は、建物の更新時期も集中しています。そのため、費用を抑える工夫が必要です



令和7年度予算の執行状況 ※令和7年9月30日現在。各項目・区分ごとに四捨五入しています

一般会計

歳入歳出予算額	歳入執行率	歳出執行率
1兆3,040億円	39.4%	38.4%

特別会計 ※公債会計を除く

区分	歳入歳出予算額	歳入執行率	歳出執行率
国民健康保険	1,822億円	36.2%	38.7%
介護保険	1,786億円	39.2%	41.1%
その他	398億円	35.8%	31.0%

市債残高

一般会計	特別会計	企業会計
1兆1,256億円	7億円	4,901億円

企業会計(収益的収入と収益的支出)

区分	収入予算額	収入執行率	支出予算額	支出執行率
市立札幌病院	269億円	48.8%	283億円	48.4%
中央卸売市場	23億円	45.2%	23億円	41.4%
路面電車	18億円	21.3%	18億円	14.7%
地下鉄	519億円	47.8%	439億円	21.5%
水道	482億円	46.7%	410億円	40.8%
下水道	537億円	35.9%	523億円	16.4%

基金残高 5,453億円

一時借入金残高 106億円
(市立札幌病院、下水道)

市の財政の詳細のほか、本年度の予算の執行状況は、ホームページでご覧になれます

ホームページ

